

# とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第10回目～）（11月17日～12月10日）

## 【活動内容】『アリはどこにいるかな？』

前回までの活動ではアリの巣穴の様子を観察しました。アリは、十分な栄養が足りていなかったこと等から死んでしまいましたが、子ども達の興味も尽きることなく、もう一度「アリを見つけに行きたい」という意欲があったため、色々な散歩先に探しに行ってみることにしました。また、行った場所やその時子ども達を感じたこと等をマップ形式で模造紙に描き、まとめていくことにしました。

## 【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

アリを題材にした紙芝居、絵本、模造紙、カメラ

## 【子ども達の姿と発見】 11月中旬～12月上旬

### 里山・神社

- ・地面を探したものの見つからず、「おうちにかえちゃったんじゃない」と表現していました。「いないね～」と言いながらも夢中になって木の根元や葉っぱの下など探す姿がありました。

- ・神社には落ち葉がたくさんあり、その下をかき分けてみると、1匹を見つけました。

### 公園

- ・草の中を探してみると「いた！」と地面を歩いているアリを見つけることができました。一匹見つけるとその周辺には何匹も歩いていたりと、日当たりのいい場所で活動していることを子どもと一緒に感じました。

- ・葉っぱの下を子ども達と一緒にかき分けていると、「いた！」と声が出たので駆け寄ると一匹見つかりました。しかし、もう一匹は見つけれず、「ありさんさむいからおうちにいるんじゃない」と話す姿がありました。

※今回は園庭から園外に目を向けて、散歩先でアリ探しをしました。最初はそこら中にいるのではないかと感じていた子ども達も、探索を続ける中でなかなか見つからないことを体験したり、土の中にいるのかなと感じたりする子どもが増えていきました。また、アリは土の中で巣を作って生活することしているという事を知る経験も出来ました。しかし思う様に捕まえる事は出来なかった為、「また春になったら探そうね」と話しています。次の活動では探索で子どもたちがアリと同様に季節の自然に興味を持ったものを環境に取り入れたいと思います。

